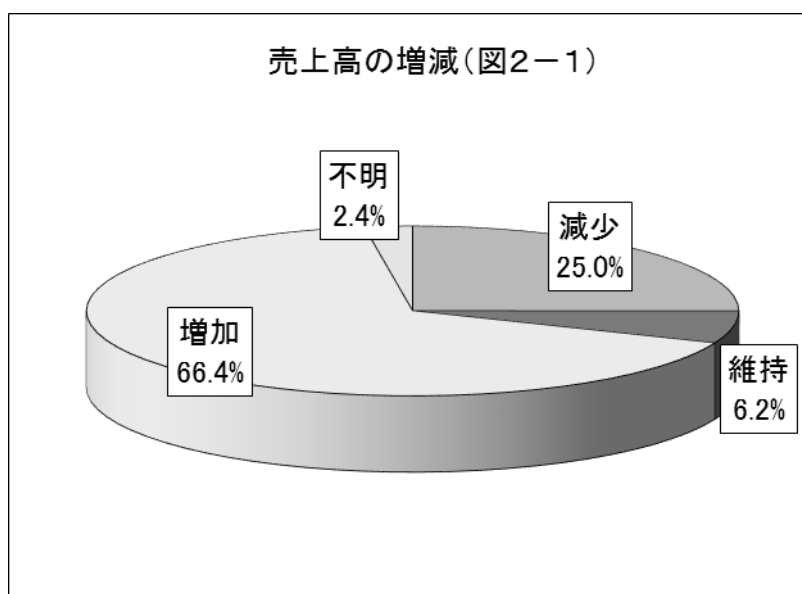


2 営業成績の状況

(1) 売上高の増減

仲卸業者全体のうち、66.4%の業者が前期に比べ売上高が増加した。一方で、25.0%の業者が売上高を減少させている。前年と比べると、増加した業者の割合は44.0ポイント上昇し、減少した業者の割合は45.8ポイント下降している。

※ 前年調査 増加22.4%、維持3.9%、減少70.8%、不明2.9%



取扱品目別にみると、全ての品目において売上高が増加した業者数が減少した業者数を上回った。

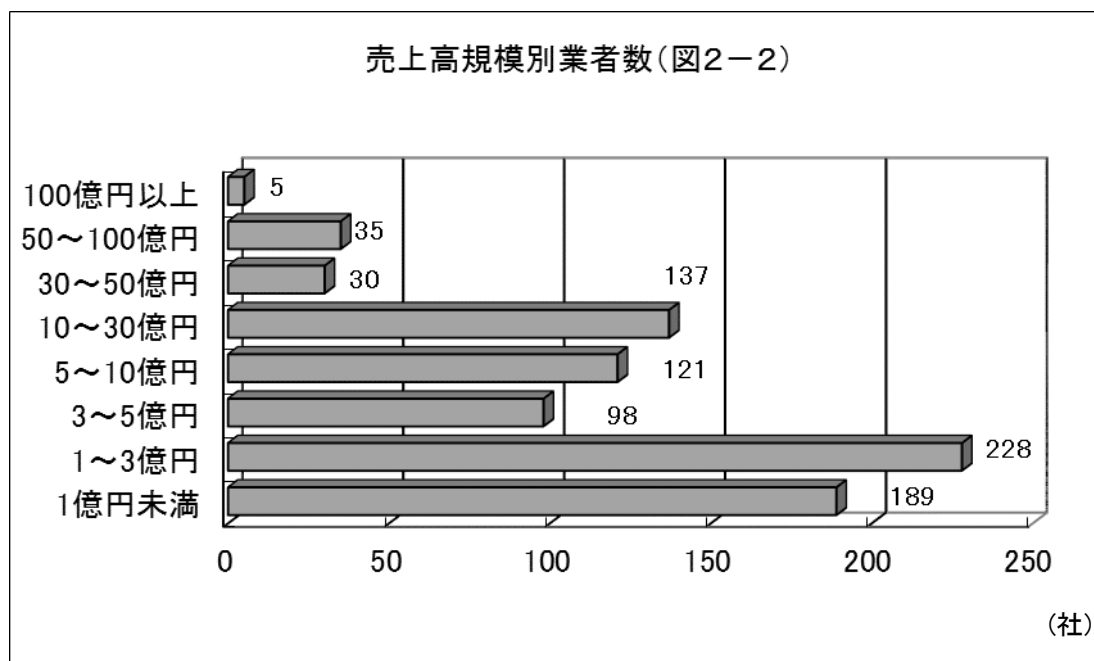
取扱品目別・売上高の増減(表2-1)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全 体	66.4%	6.2%	25.0%	2.4%
水 産 物	71.1%	5.5%	21.6%	1.8%
青 果 物	57.0%	8.4%	31.1%	3.5%
花 き	81.6%	2.6%	13.2%	2.6%
食 肉	58.3%	0.0%	41.7%	0.0%

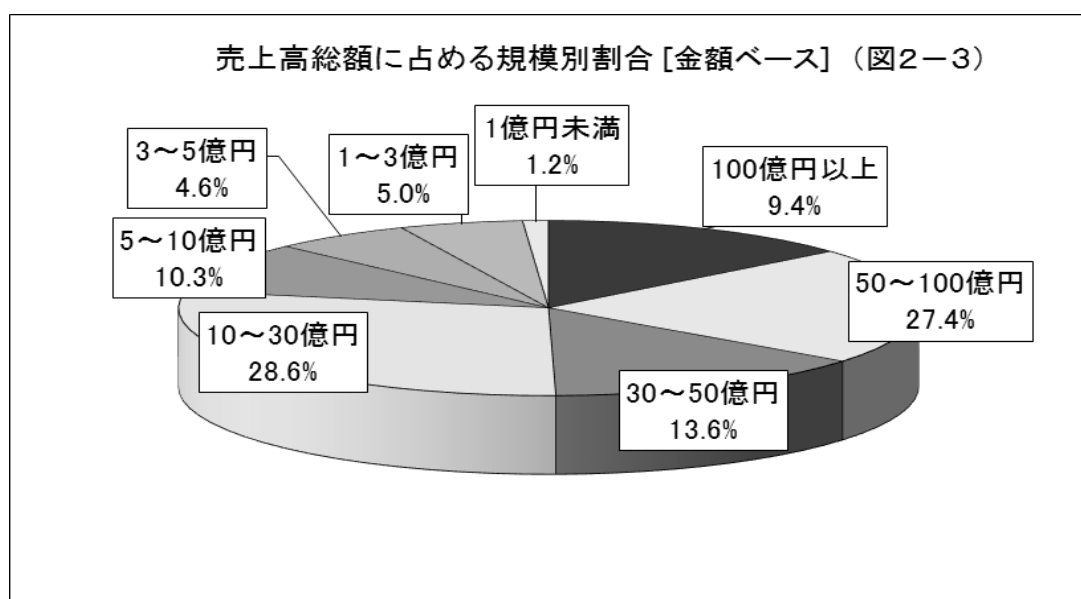
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(2) 売上高の規模別業者数

仲卸業者全体のうち、売上高1億円以上3億円未満の業者が最も多い。また、売上高が3億円未満の業者で全体の49.5%(417社)を占めている。



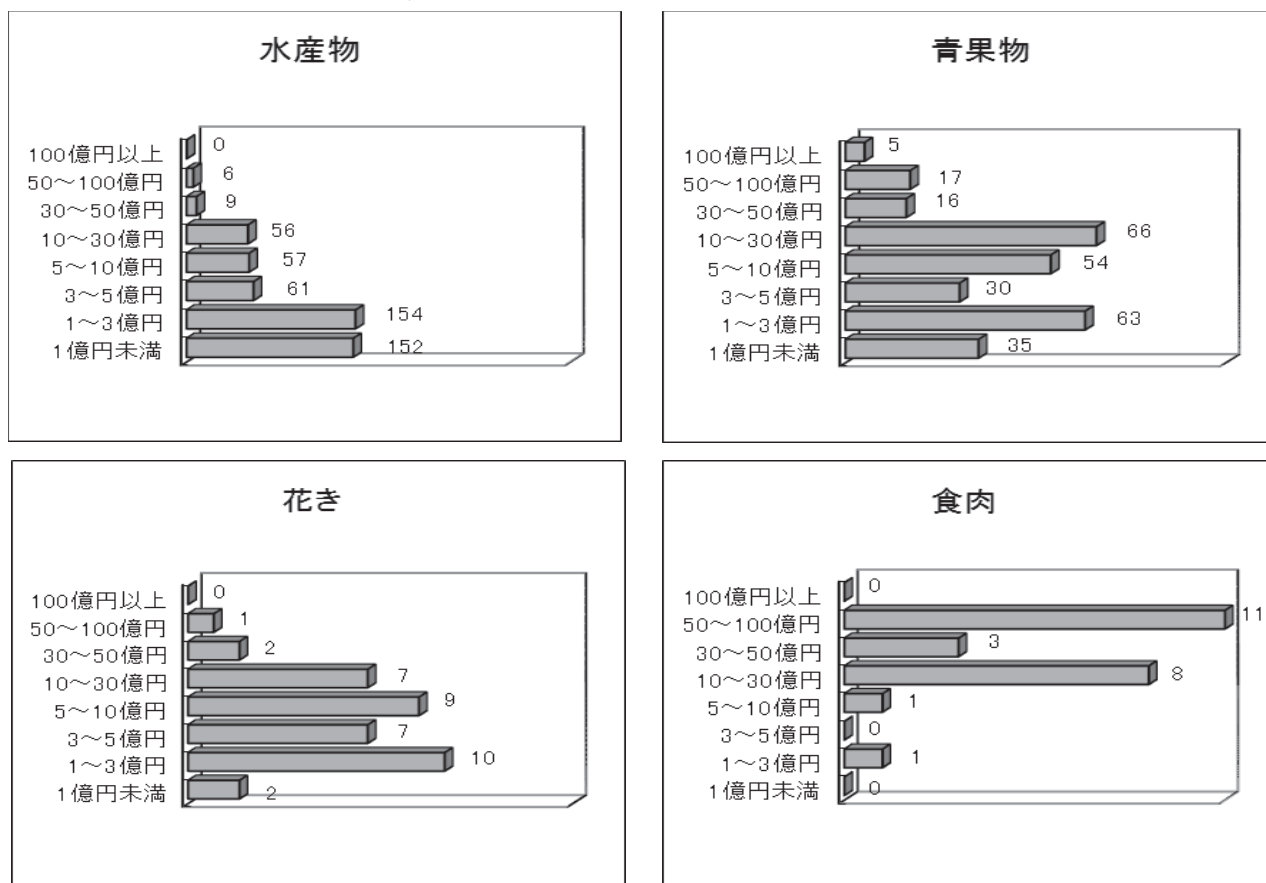
金額ベースにした売上高総額に占める規模別割合でみると、半数近くを占める売上高3億円未満の業者のシェアは6.2%に留まっている。



(3) 売上高の規模別・取扱品目別業者数

取扱品目別にみると、水産物及び花きでは売上高1億円以上3億円未満の層が、青果物では10億円以上30億円未満の層が、食肉では50億円以上100億円未満の層が最も多くなっている。

売上高規模別・取扱品目別業者数（図2－4）



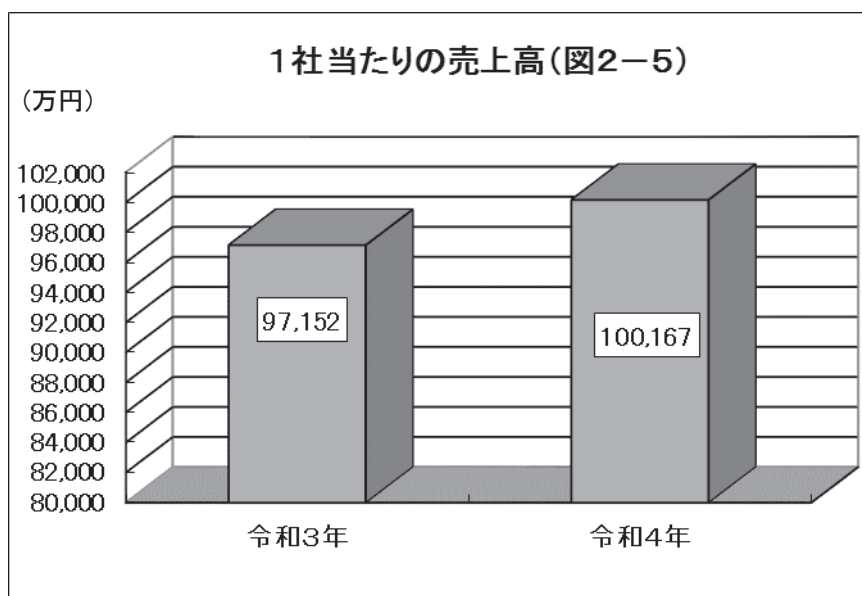
売上高規模別・取扱品目別業者数（表2－2）

単位：社

	全 体	水 産 物	青 果 物	花 き	食 肉
100億円以上	5 (0.6%)	0 (—)	5 (1.7%)	0 (—)	0 (—)
50～100億円	35 (4.2%)	6 (1.2%)	17 (5.9%)	1 (2.6%)	11 (45.8%)
30～50億円	30 (3.6%)	9 (1.8%)	16 (5.6%)	2 (5.3%)	3 (12.5%)
10～30億円	137 (16.3%)	56 (11.3%)	66 (23.1%)	7 (18.4%)	8 (33.3%)
5～10億円	121 (14.4%)	57 (11.5%)	54 (18.9%)	9 (23.7%)	1 (4.2%)
3～5億円	98 (11.6%)	61 (12.3%)	30 (10.5%)	7 (18.4%)	0 (—)
1～3億円	228 (27.0%)	154 (31.1%)	63 (22.0%)	10 (26.3%)	1 (4.2%)
1億円未満	189 (22.4%)	152 (30.7%)	35 (12.2%)	2 (5.3%)	0 (—)
合 計	843	495	286	38	24

(4) 1社当たりの売上高

仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の9億7,152万円から10億167万円と、3,015万円(3.1%)増加した。



取扱品目別にみると、前年に比べ水産物、花き及び食肉では増加し、青果物では減少した。

1社当たりの売上高 (表2-3)

	令和3年	令和4年	対前年比
全 体	97,152 万円	100,167 万円	103.1%
水 産 物	46,042 万円	53,195 万円	115.5%
青 果 物	164,121 万円	155,806 万円	94.9%
花 き	81,137 万円	101,558 万円	125.2%
食 肉	392,333 万円	403,728 万円	102.9%

(5) 売上総利益率の変化

売上総利益率(いわゆる粗利益率)は、全体では前年に比べ0.11ポイント上昇した。取扱品目別にみると、青果物では上昇し、水産物、花き及び食肉では下降した。

売上総利益率(表2-4)

	令和3年	令和4年
全 体	13.10%	13.21%
水 産 物	15.17%	14.41%
青 果 物	12.92%	13.49%
花 き	18.76%	18.39%
食 肉	7.01%	6.57%

売上総利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合をみると、全体では下降した業者数が上昇した業者数を上回った。取扱品目別では、水産物、花き及び食肉では下降した業者数が上昇した業者数を上回り、青果物では上昇した業者数が下降した業者数を上回った。

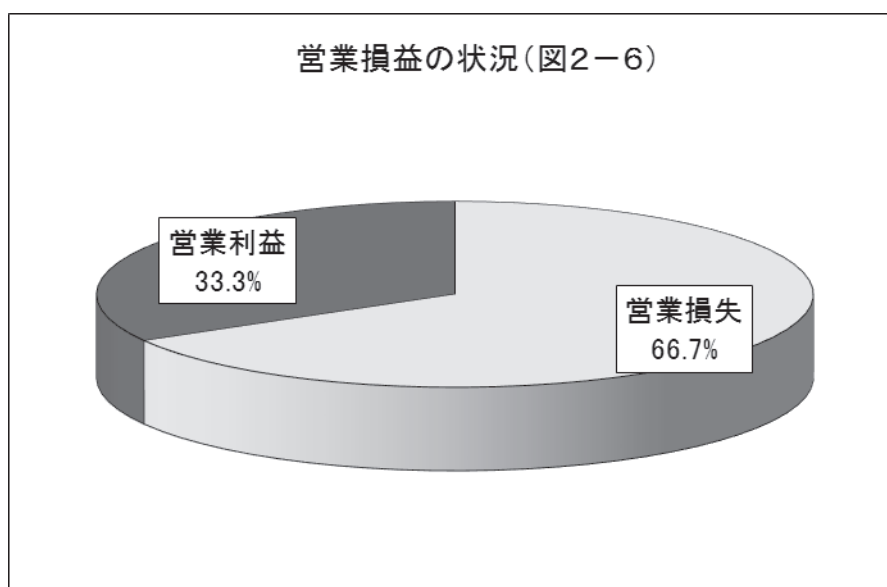
売上総利益率の変化(表2-5)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	34.6%	63.0%	2.4%
水 産 物	25.7%	72.5%	1.8%
青 果 物	48.6%	47.9%	3.5%
花 き	42.1%	55.3%	2.6%
食 肉	41.7%	58.3%	0.0%

(6) 営業損益の状況

営業利益(黒字)を計上した業者の割合が33.3%、営業損失(赤字)を計上した業者の割合が66.7%となり、前年に比べ赤字となった業者の割合が減少した。

※ 前年調査 黒字:赤字 = 24.6% : 75.4%



取扱品目別にみると、水産物、青果物及び食肉では半数以上の業者が赤字となり、花きでは黒字となった業者数と赤字となった業者数が同数であった。

営業損益の状況(表2-6)

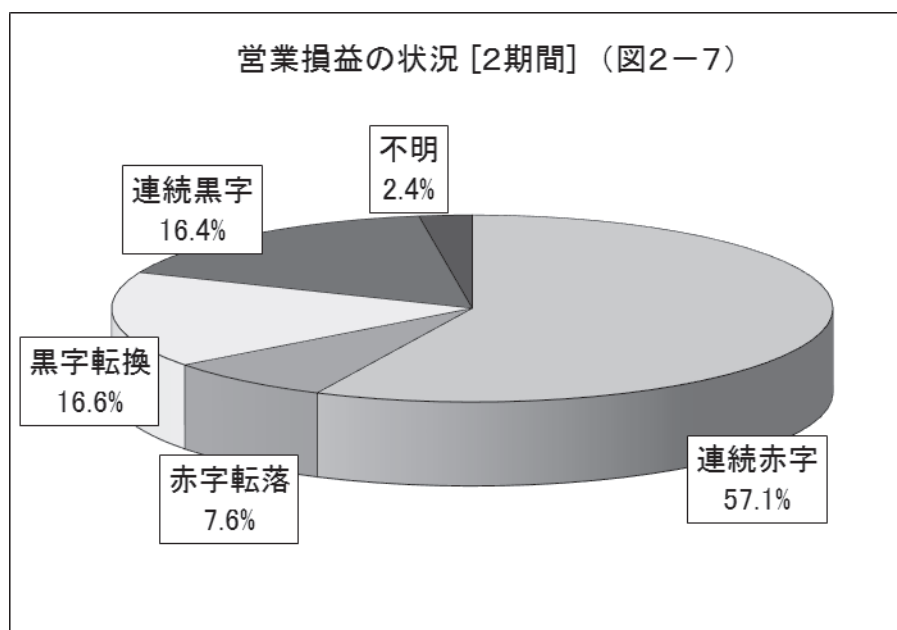
() 内は前年調査の数値

	営業利益 [黒字業者]	営業損失 [赤字業者]
全 体	33.3% (24.6%)	66.7% (75.4%)
水 産 物	25.1% (16.5%)	74.9% (83.5%)
青 果 物	44.8% (33.7%)	55.2% (66.3%)
花 き	50.0% (39.5%)	50.0% (60.5%)
食 肉	41.7% (62.5%)	58.3% (37.5%)

(7) 営業損益の状況(2期間)

営業損益が2期連続して黒字計上となった業者は16.4%、2期連続して赤字計上となった業者は57.1%となった。黒字に転換した業者は16.6%、赤字に転落した業者は7.6%となった。

※ 前年調査 連続黒字16.5%、黒字転換6.7%、赤字転落16.3%、連続赤字57.6%、不明2.9%



取扱品目別にみると、2期連続して黒字となった業者の割合は、食肉が最も多かった。黒字に転換した業者の割合は花きが最も多く、赤字に転落した業者の割合は食肉が最も多かった。また、2期連続して赤字となった業者の割合は、水産物が最も多かった。

営業損益の状況(2期間)(表2-7)

()内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全 体	16.4% (16.5%)	16.6% (6.7%)	7.6% (16.3%)	57.1% (57.6%)	2.4% (2.9%)
水 産 物	10.5% (10.2%)	14.5% (5.5%)	6.1% (16.3%)	67.1% (65.8%)	1.8% (2.2%)
青 果 物	24.1% (24.7%)	19.6% (6.2%)	7.3% (15.5%)	45.5% (48.8%)	3.5% (4.8%)
花 き	23.7% (18.4%)	26.3% (21.1%)	15.8% (13.1%)	31.6% (47.4%)	2.6% (0.0%)
食 肉	33.3% (45.8%)	8.3% (16.7%)	29.2% (29.2%)	29.2% (8.3%)	0.0% (0.0%)

(8) 営業利益率の変化

営業利益率は、全体では2期連続してマイナスであるものの、前年に比べ上昇した。取扱品目別にみると、水産物及び花きでは上昇し、食肉では下降し、青果物ではほぼ同率であった。また、水産物及び食肉では2期連続してマイナスとなった。

営業利益率(表2－8)

	令和3年	令和4年
全 体	△0.41%	△0.21%
水 産 物	△2.17%	△1.14%
青 果 物	0.42%	0.41%
花 き	△0.36%	0.26%
食 肉	△0.31%	△0.74%

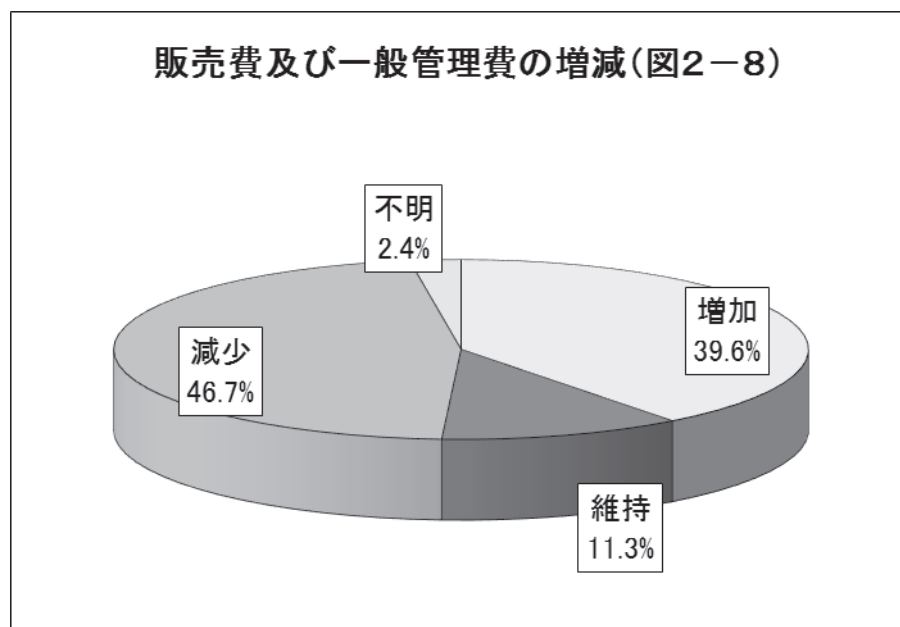
営業利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合を取扱品目別にみると、水産物、青果物及び花きでは上昇した業者数が半数を超え、食肉では下降した業者数が半数を超えた。

営業利益率の変化(表2－9)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	59.9%	37.7%	2.4%
水 産 物	62.6%	35.6%	1.8%
青 果 物	57.0%	39.5%	3.5%
花 き	57.9%	39.5%	2.6%
食 肉	41.7%	58.3%	0.0%

(9) 販売費及び一般管理費の増減

販売費及び一般管理費(以下、「販管費」という。)が減少した業者は46.7%、増加した業者は39.6%となった。



取扱品目別にみると、水産物、青果物及び食肉では販管費が減少した業者数が増加した業者数を上回り、花きでは増加した業者数が減少した業者数を上回った。

販売費及び一般管理費の増減(表2-10)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全 体	39.6%	11.3%	46.7%	2.4%
水 産 物	37.0%	11.9%	49.3%	1.8%
青 果 物	40.6%	10.5%	45.5%	3.5%
花 き	65.8%	7.9%	23.7%	2.6%
食 肉	41.7%	12.5%	45.8%	0.0%

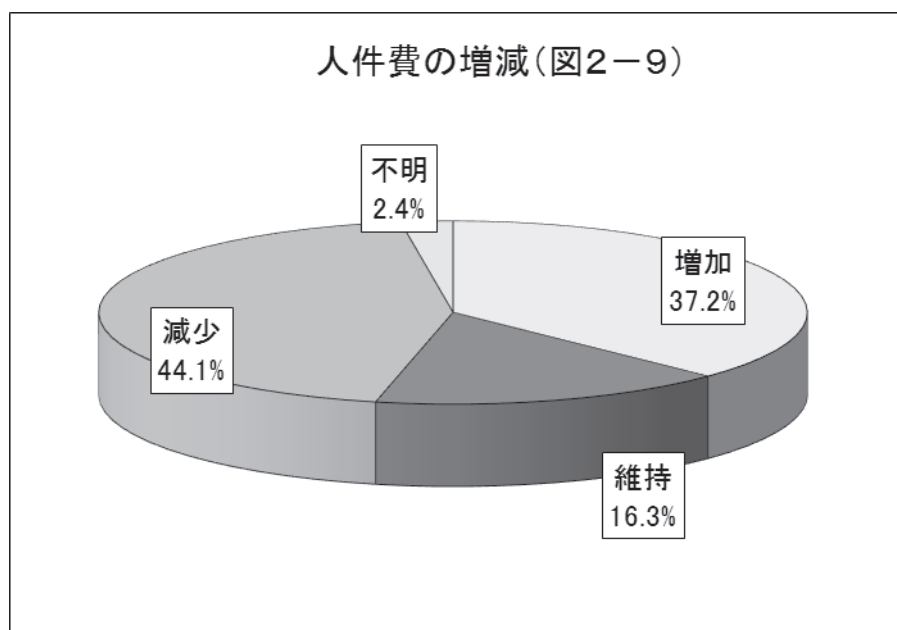
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(10) 人件費の増減

人件費(注)が減少した業者は44.1%、増加した業者は37.2%、維持した業者は16.3%となり、減少した業者が増加した業者を上回った。

(注) 人件費 役員報酬、給与手当、福利厚生費、退職共済掛金 等

※ 前年調査 減少56.5%、増加28.3%、維持12.3%、不明2.9%



取扱品目別にみると、水産物では人件費が減少した業者数が増加した業者数を上回った。また、青果物、花き及び食肉では増加した業者数が減少した業者数を上回った。

人件費の増減(表2-11)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全 体	37.2%	16.3%	44.1%	2.4%
水 産 物	30.3%	18.8%	49.1%	1.8%
青 果 物	43.4%	13.6%	39.5%	3.5%
花 き	68.4%	5.3%	23.7%	2.6%
食 肉	58.3%	12.5%	29.2%	0.0%

※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(11) 人件費比率の変化

売上高対人件費比率は、全体では前年に比べ下降した。取扱品目別にみると、水産物、青果物及び花きでは下降し、食肉では上昇した。

売上高対人件費比率(表2-12)

	令和3年	令和4年
全 体	6.92%	6.63%
水 産 物	9.98%	8.75%
青 果 物	5.95%	5.89%
花 き	10.45%	9.61%
食 肉	3.06%	3.14%

売上総利益対人件費比率は、全体では前年に比べ下降した。取扱品目別にみると、水産物、青果物及び花きでは下降し、食肉では上昇した。

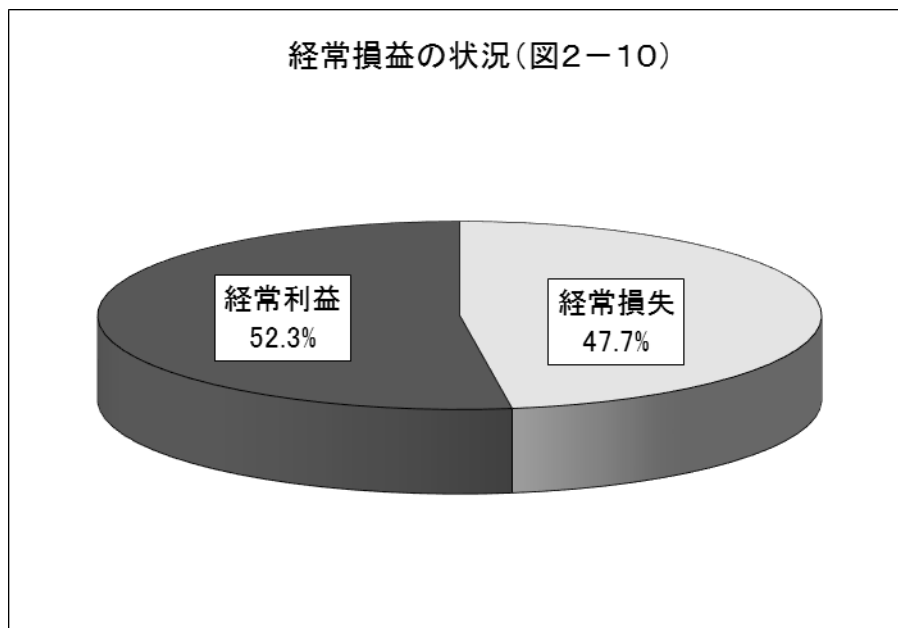
売上総利益対人件費比率(表2-13)

	令和3年	令和4年
全 体	52.83%	50.23%
水 産 物	65.78%	60.71%
青 果 物	46.09%	43.63%
花 き	55.68%	52.29%
食 肉	43.59%	47.81%

(12) 経常損益の状況

経常利益(黒字)を計上した業者の割合は52.3%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合は47.7%と、前年に比べ黒字業者の割合が7.7ポイント上昇した。

※ 前年調査 黒字:赤字 = 44.6% : 55.4%



前年と比較すると、水産物、青果物及び花きでは黒字業者の割合が増加し、食肉では黒字業者の割合が減少した。

経常損益の状況(表2-14)

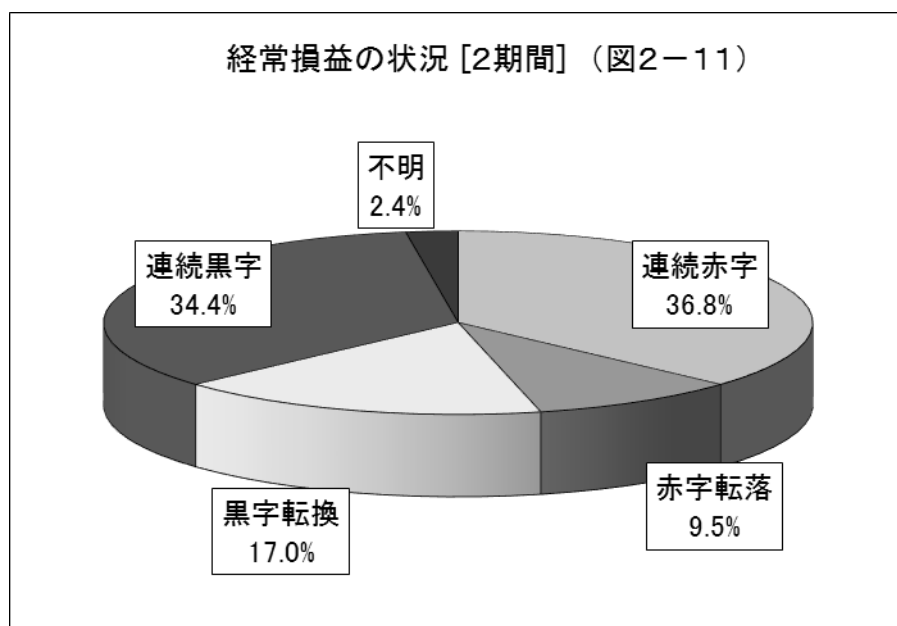
() 内は前年調査の数値

	経常利益 [黒字業者]	経常損失 [赤字業者]
全 体	52.3% (44.6%)	47.7% (55.4%)
水 産 物	44.0% (35.4%)	56.0% (64.6%)
青 果 物	62.6% (55.3%)	37.4% (44.7%)
花 き	63.2% (57.9%)	36.8% (42.1%)
食 肉	83.3% (87.5%)	16.7% (12.5%)

(13) 経常損益の状況(2期間)

経常損益が2期連続して黒字計上となった業者は34.4%となり、前年に比べると上昇した。2期連続して赤字計上となった業者は36.8%となり、前年に比べると下降した。また、黒字に転換した業者の割合は17.0%、赤字に転落した業者の割合は9.5%となった。

※ 前年調査 連続黒字30.4%、黒字転換12.5%、赤字転落16.5%、連続赤字37.7%、不明2.9%



取扱品目別にみると、2期連続して黒字となった業者の割合は、食肉が最も多かった。黒字に転換した業者の割合は花きが最も多く、赤字に転落した業者の割合も花きが最も多かった。また、2期連続して赤字となった業者の割合は、水産物が最も多かった。

経常損益の状況(2期間)(表2-15)

() 内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全 体	34.4% (30.4%)	17.0% (12.5%)	9.5% (16.5%)	36.8% (37.7%)	2.4% (2.9%)
水 産 物	25.1% (22.2%)	18.4% (12.4%)	10.5% (17.3%)	44.2% (45.9%)	1.8% (2.2%)
青 果 物	46.5% (41.2%)	14.3% (10.4%)	6.3% (15.8%)	29.4% (27.8%)	3.5% (4.8%)
花 き	39.5% (28.9%)	23.7% (28.9%)	18.4% (15.8%)	15.8% (26.4%)	2.6% (0.0%)
食 肉	75.0% (75.0%)	8.3% (12.5%)	12.5% (8.3%)	4.2% (4.2%)	0.0% (0.0%)

(14) 経常利益率の変化

経常利益率は、全体では0.59%と前年を上回った。取扱品目別にみると、全ての品目で上昇した。

経常利益率(表2-16)

	令和3年	令和4年
全 体	0.26%	0.59%
水 産 物	△0.79%	0.08%
青 果 物	0.72%	0.86%
花 き	0.45%	0.66%
食 肉	0.45%	0.71%

経常利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合を取扱品目別にみると、全ての品目で上昇した業者数が下降した業者数を上回った。

経常利益率の変化(表2-17)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	59.3%	38.3%	2.4%
水 産 物	61.4%	36.8%	1.8%
青 果 物	55.6%	40.9%	3.5%
花 き	60.5%	36.8%	2.6%
食 肉	58.3%	41.7%	0.0%

(15) 従事員1人当たり売上高

従事員1人当たり売上高は、全体では前年に比べ増加した。取扱品目別にみると、水産物、花き及び食肉では増加し、青果物では減少した。

従事員1人当たり売上高(表2-18)

	令和3年	令和4年
全 体	7,785 万円	7,988 万円
水 産 物	5,267 万円	5,993 万円
青 果 物	9,799 万円	9,552 万円
花 き	3,366 万円	3,898 万円
食 肉	18,319 万円	18,562 万円

従事員1人当たり売上高が増加した業者数と減少した業者数の割合を取扱品目別にみると、全ての品目において増加した業者数が減少した業者数を上回った。

従事員1人当たり売上高の増減(表2-19)

	増加した業者	減少した業者	不明
全 体	70.7%	26.9%	2.4%
水 産 物	74.9%	23.2%	1.8%
青 果 物	65.4%	31.1%	3.5%
花 き	63.2%	34.2%	2.6%
食 肉	58.3%	41.7%	0.0%

(16) 従事員1人当たり売上総利益

従事員1人当たり売上総利益は、全体では前年に比べ増加した。取扱品目別にみると、水産物、青果物及び花きでは増加し、食肉では減少した。

従事員1人当たり売上総利益(表2-20)

	令和3年	令和4年
全 体	1,020 万円	1,055 万円
水 産 物	799 万円	864 万円
青 果 物	1,266 万円	1,289 万円
花 き	631 万円	717 万円
食 肉	1,285 万円	1,220 万円

従事員1人当たり売上総利益が増加した業者数と減少した業者数の割合を取扱品目別にみると、水産物、青果物及び花きでは増加した業者数が減少した業者数を上回り、食肉では減少した業者数が増加した業者数を上回った。

従事員1人当たり売上総利益の増減(表2-21)

	増加した業者	減少した業者	不明
全 体	58.2%	39.4%	2.4%
水 産 物	57.4%	40.8%	1.8%
青 果 物	60.5%	36.0%	3.5%
花 き	63.2%	34.2%	2.6%
食 肉	41.7%	58.3%	0.0%

(17) 従事員1人当たり人件費

従事員1人当たり人件費は、全体では前年に比べ減少した。取扱品目別にみると、青果物では減少し、花き及び食肉では増加し、水産物ではほぼ同額であった。

従事員1人当たり人件費(表2-22)

	令和3年	令和4年
全 体	539 万円	530 万円
水 産 物	526 万円	524 万円
青 果 物	583 万円	562 万円
花 き	352 万円	375 万円
食 肉	560 万円	583 万円

従事員1人当たり人件費が増加した業者数と減少した業者数の割合を取扱品目別にみると、水産物では減少した業者数が増加した業者数を上回り、青果物、花き及び食肉では増加した業者数が減少した業者数を上回った。

従事員1人当たり人件費の増減(表2-23)

	増加した業者	減少した業者	不明
全 体	46.9%	50.8%	2.4%
水 産 物	44.0%	54.1%	1.8%
青 果 物	50.3%	46.2%	3.5%
花 き	50.0%	47.4%	2.6%
食 肉	58.3%	41.7%	0.0%